

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクール シーグラスめむる教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	商店街の方々と継続的な関わりを持ち、地域の方々に子どもたちを知ってもらい、子どもたちが地域を知る活動をしていること。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに積極的に参加していること。 必要な物は地域のお店の利用をしていること。 お仕事体験を継続的にさせていただいていること。 イベント時に商店街に出かけ、交流をしていること。 プロジェクトめむる利用者との交流の機会を持つこと。 新しい地域の方との交流を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も交流店舗の拡大。 地域で行われるイベントの継続的な参加。 お仕事体験やイベント活動の継続。 高校生など地域の方との交流の機会を増やす 地域の交流先を増やす。
2	お仕事体験活動を通し、対価(事業所内通貨)を得る喜びとそれを使う楽しさを体験出来ること。	<ul style="list-style-type: none"> お仕事体験に変化をつけること。 児童に合わせてお仕事内容を変更していること。 事業所内通貨を使用して楽しめる活動やイベントを提供していること。 イベント時にみんなが参加出来るようにシーグラスの使い方を工夫していること。 見通しを立ててシーグラスを溜められるように活動内容を工夫していること。 	<ul style="list-style-type: none"> マンネリ化しないように変化をつける。 子供たちがやりたいと思う活動の提供。 現在のお仕事体験は一人で取り組むものが多い為、協力して取り組むお仕事体験を検討する。 シーグラスの利用の仕方を検討する。
3	職員同士、意見が言い合えること。	<ul style="list-style-type: none"> 意見を言う場を設けていること。 みんなが発言する機会を持てる雰囲気を作っていること。 出た意見に対して相手を受け入れることを意識している。たとえば、その時に出来なくても、時間を置いて話しをすること。 活動の振り返りの際、改善策を出し合うこと。 定期的に、また課題が出た時に研修を行い、知識を深めていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う時間を今後も設ける。 振り返りの際は、率直な意見を出し合い、今後に繋げる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の活動における情報共有が出来ていないことで、支援の統一が出来ないことがあること	<ul style="list-style-type: none"> 活動が多岐にわたるため、情報量が多いこと。 統一させることについての伝達方法が口頭のみになっていること。 情報共有をしている時に不在の職員が情報を得る手段がないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> タイムリーに話をする。 記録し、不在の職員にも情報が届くようにする。
3			